

JPACSの活動		IS&C委員会	関連する動き		
昭和60年	1983	6 日本PACS研究会(JPACS)発足 会長 尾上守夫/事務局長 JIRA PACSシンポジウム開催(東京)	1983	ACR-NEMA開発開始	
昭和61年	1984	8 第1回PACS & PHD INTERNATIONAL SYMPOSIUM(東京) 表紙だけ	1984		
昭和62年	1985	9 第2回PACS & PHD INTERNATIONAL SYMPOSIUM(東京)	1985	ACR-NEMA V1.0	
昭和63年	1988		1988	ACR-NEMA V2.0 1988 北大PACS	
平成元年	1989	PACSハンドブック 刊行 5 医用画像データベース標準化委員会発足(IS&C委員会に移行)	1989	2 第一回公開シンポジウム「医療における画像ファイリング」 6 Image Management and Communication in Patient Care (IMAC) 国際会議にてIS&C発表 6 IS&C委員会 発足 可能型大容量記録媒体を用いた医療画像ファイリングシステム (IS&C)の研究 (MEDISと共同)	
平成2年	1990		1990	2 第二回公開シンポジウム「医療における画像ファイリング」	
平成3年	1991		1991	4 日本医学会総会展示(京都) IMAG 6 第三回公開シンポジウム「医療における画像ファイリング」 12 RSNAでデモ 1991-1994 国立がんセンター実証プロジェクト(通産省)	
平成4年	1992		1992	4 国際画像展示会(放射線医学会総会)でIS&Cフェア 21社 7 IS&Cセミナー 11 IS&C業務研究会 1992-1996 IS&C レター PDF化	
平成5年	1993		1993	DICOM	
平成6年	1994	10 会員のための「共通規格1」の勉強会(東京)	1994	3 光磁気ディスクへの電子保存 平成6年3月29日 JIRA 医用画像システム開発部会 JAHIS 発足	エックス線写真等の光磁気ディスク等への保存について 安全性、再現性、共通利用 電子保存の技術的基準(法令に保存義務が規定されている医用画像情報の電子媒体による保存に関する技術的基準)
平成7年	1995	6 JPACS NEWS LETTER NO.1 発行 12 会員のための「共通規格勉強会」(東京)	1995	DICOM WG2の専門家会議 共通規格II(DICOM) 共通規格認証開始	
平成8年	1996	2 JPACS NEWS LETTER NO.2 発行 8 JPACS NEWS LETTER NO.3 発行 9 JPACS NEWS LETTER NO.4 発行 12 IS&C普及委員会主催「医用画像情報の電子化」勉強会(札幌)	1996	オンライン電子保存 実装規格 ISCL規格	
平成9年	1997	5 JPACS NEWS LETTER NO.5 発行 7 会員のための「医療情報関連の標準化動向」の勉強会(東京) 9 平成9年度情報化推進会議「通産産業大臣賞」受賞 10 JPACS NEWS LETTER NO.6 発行	1997	10 通産大臣賞 受賞 10 オンライン電子保存とDICOMとの整合 東京会議	
平成10年	1998	12 JPACS TOUR(RSNA及び北米主要病院での遠隔医療/遠隔画像新/PACSに関する講演(共通規格適合認証を止めたのは いつ JPACS NEWS LETTER NO.7 発行 1 第5回会員のための勉強会「IS&C委員会の最近の活動報告」(東京) 11 第7回会員のための勉強会「米国の軍民協力による遠隔医療技術の紹介」(東京)	1998	オンライン電子保存 RSNA発表 DICOM PART15 総産省実証プロジェクト 大規模な電子保存システムへの実証 (情報処理振興事業協会委託事業)	
平成11年	1999	5 JPACS NEWS LETTER NO.8 発行	1999	4 電子保存通知(真正性、見読性、保存性) 平成11年4月の「法令に保存義務が規定されている診療録及び診療記録の電子媒体による保存に関する通知 11 医用画像電子化の導入マニュアル 10 診療録等の電子媒体による保存に関する解説書 (MEDIS-DC) 12 RSNAでIHEのデモ	
平成12年	2000	3 JPACS NEWS LETTER NO.9 発行	2000	7 真正性を技術的に確保する診療録等の 電子保存システム機能仕様(案) Ver. 0.9 12 医用波形情報データフォーマット デジタル投影X線画像データフォーマット	WG1: ディスク上の論理フォーマット WG2: アプリケーション対応のデータフォーマット WG2-0: データフォーマット全体の将来検討とversionの調整
平成13年	2001	2 JPACS NEWS LETTER NO.10 発行 4 第9回会員のための勉強会「IS&C活動報告会」(東京)	2001	9 IHE-J委員会 発足	WG2-1: 放射線関連画像 WG2-2: カラー画像 WG2-3/WG2-4: 医用波形情報の標準化(MFER) WG2-5: 歯科画像 WG3: オンライン電子保存 WG3-3 オンライン電子保存実装実験 WG4: 臨床応用の検討 WG5: 90mm 640MBディスクドライブ WG6: 文字・数値 WG7: 可逆圧縮 WG8: フィルムデジタイザー、カルテスキャナー WG9: 画像連携コマンドプロトコル WG10: ISCL(Integrated Secure Communication Layer) WG10-3: 電子署名とタイムスタンプ WG11: デジタルキャプチャー WG12: 真正性を技術的に確保する診療録等の電子保存システム WG13: 新通知に関する活動 WG14: DICOM規格対応 WG15: マイヘルスケアE-BOOK WG16: セキュアデータベースの構築 WG17: 多機能ICチップを用いた医療分野のセキュリティ
平成14年	2002	11 JPACS NEWS LETTER NO.12 発行(No.11欠番)	2002	12 保健医療分野のIT化グランドデザイン IHE-J字モストレーション(JRC) 3 外部保存通知	
平成15年	2003	3 JPACS NEWS LETTER NO.13 発行 1 第10回会員のための勉強会「IS&C活動報告会」(東京) 5 第21回医用画像電子化研究会(大阪)	2003	5 個人情報保護法 制定 6 医療情報ネットワーク基盤検討会 設置	
平成16年	2004	2 会員のための勉強会「IS&C活動報告会」(東京)	2004	1 データベースシステム、汎用OSおよびファイル保護ソフトを用いた小規模医療施設	WG2-3/WG2-4: 医用波形情報の標準化(MFER) WG10-3: ISCL電子署名とタイムスタンプ WG16: セキュアデータベースの構築 WG17: 多機能ICチップを用いた医療分野のセキュリティ
平成17年	2005	5 ePHDS委員会活動 XDS普及活動	2005	3 安全管理ガイドライン V1 真正性、見読性、保存性	
平成18年	2006		2006	5 個人情報保護法 実施	
平成19年	2007		2007	3 日本IHE協会 発足 3 保健医療分野のIT化グランドデザインII	
平成20年	2008		2008		
平成21年	2009		2009		
平成22年	2010		2010	3 地域医療連携情報システムハンドブック2010	
平成23年	2011		2011	3 地域医療連携情報システムハンドブック2011	
平成24年	2012		2012		
平成25年	2013		2013	11 PHR協会 設立	
平成26年	2014		2014	3 活動 終了	